

【第4回 伊勢市立小中学校適正規模化・適正配置基本計画(案)に係る検討会の概要】

- 1 日 時 平成28年10月4日(火) 19:00~20:20
- 2 場 所 小俣総合支所 第1・2会議室
- 3 出席者 深草正博、美濃松謙、伊豆 敏、安田悦子 計4名
- 4 内 容

(1)第3回検討会の概要報告

(2)検討課題について

○早修小・中島小・佐八小及び上野小の統合について

★早修・中島・佐八の3小学校及び上野小学校をどのように統合していくのか。

【検討の視点】

- ・学校の位置 ・児童数、学級数推移 ・校舎建築年度 ・通学距離、通学時間
- ・防災面 ・施設面 ・懸念されること など

【検討委員の意見(要旨)】

- ・統合の説明をするときには、統合のメリットを打ち出していく必要がある。
- ・多少距離があっても通いたくなるような魅力的な学校をつくっていく必要がある。
- ・教師の立場から考えても、学年2学級以上あれば、学年団でいろいろ相談ができる。
- ・複数の学級がある方が、教育活動の多様化が図れ、様々な展開や工夫ができる。
- ・ある程度の児童数や学級数があることにより様々な刺激が得られ、それが児童の成長につながると思われる。
- ・校舎の建て替えのことも考えて、統合していく必要がある。
- ・遠距離バス通学の児童への負担を考えると、低学年と高学年を分校、本校に分けるのも一つの方法であると思う。
- ・早修、中島、佐八の3小学校をまず統合するという方向性がよいのではないかと。上野小学校については、統合の時期を考慮しながら統合していく。統合場所としては、施設面や防災面等から考えると中島小学校が適切である。
- ・早修、中島、佐八をまず統合する。上野小学校も単独存続とはせず、大枠としては統合を進めるという形がよい。場所は教室数等の関係から中島小学校がよい。
- ・上野小学校のことも視野に入れながら、3小学校の統合を進める。3小学校が統合しても、4小学校が統合しても、中島小学校には全員が入れるので、中島小学校を統合場所とする方がよい。